

板スポ今季第13回上越旗初優勝

左腕投手快投・投打(◎躍動)主将 荏戸 MVP

板スポ新聞

板倉スポーツ少年団 野球クラブ発行



表彰式後、笑顔で記念撮影する板スポメンバー

攻守に冴え、点差逃げ切る

▽決勝戦

白峰	0	1	2	0	1	3	0	1
板倉	0	4	3	0	0	1	X	1
								8
								7

●鷺沢・加藤
○荏戸・岩崎利
▽三塁打 竹之内、荏戸、高橋 (板)
▽二塁打 岩崎利 (板)、浅沼、鷺沢 (白)

第13回上越タイムス旗争奪幼年野球大会の決勝戦が5月5日上越市少年野球場で行われ、板倉スポーツ少年団野球クラブが昨年優勝の白峰ジュニアを8対7で下し初優勝を遂げた。打線は初回竹之内の先制三塁打を皮

会長旗逃した無念晴らす

今期市内大会を全勝でいこうと挑んだ初戦の高田ジュニアリーグ会長旗は惜しくも決勝で涙を飲んだ。その試合後名将鴨井監督の檄が飛んだ。「あ

切りに連打で4点先行。白峰も追いつき終盤同点に追いついたが、板倉が6回畔地の安打から敵失により決勝点をあげた。投手陣は先発左腕上野が序盤試合を作り主将荏戸が最後を締めた。MVPは投打に活躍の荏戸が選ばれた。この大会で板スポを含めたベスト4はこの後、高円宮杯の上越地区大会に出場する。

寮の元名選手から指導

5月6日改修された高田公園野球場で板スポ選手達は金田正一さんをはじめとする名選手から指導を受けた。その後の親善試合もありみんな一日楽しんだ様子だった。

一振不乱

待ちに待った球春である。グラウンドに子供達の声に戻ってきた。一斉に野に放たれた子供達は、冬の間鍛え上げた心身を伸び伸びと躍動させる。▼子供達は元気だ。寒くても暑くても一生懸命動き回る。後先など考える由もない。▼最近各方面より子供達から故障をなくそうと声が上がっている。プロ・アマ問わずたくさんの名選手が故障に泣いてきた。▼何が良くて何が悪いということとはまだまだ確立されてはいない。投げすぎを指摘しているMLBでさえ故障がないわけではない。▼故障者を出さない。指導者・選手両者の永遠のテーマだろう。

野球やろう!!!
会員登録中

http://itaupa.kcn-shin.net/